アイネス
未来を考えるＩＴ企業

2017年3月期　決算説明会

代表取締役社長
森　悦郎

株式会社アイネス
2017年4月27日

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

Ⅰ　2017年3月期　決算

Ⅰ-1　17年3月期 決算の概要

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

■ **売上高は金融の新規や大口案件の不足により減収となるも、利益面では原価低減の努力により増益達成、公表値も達成。**

（単位：百万円）

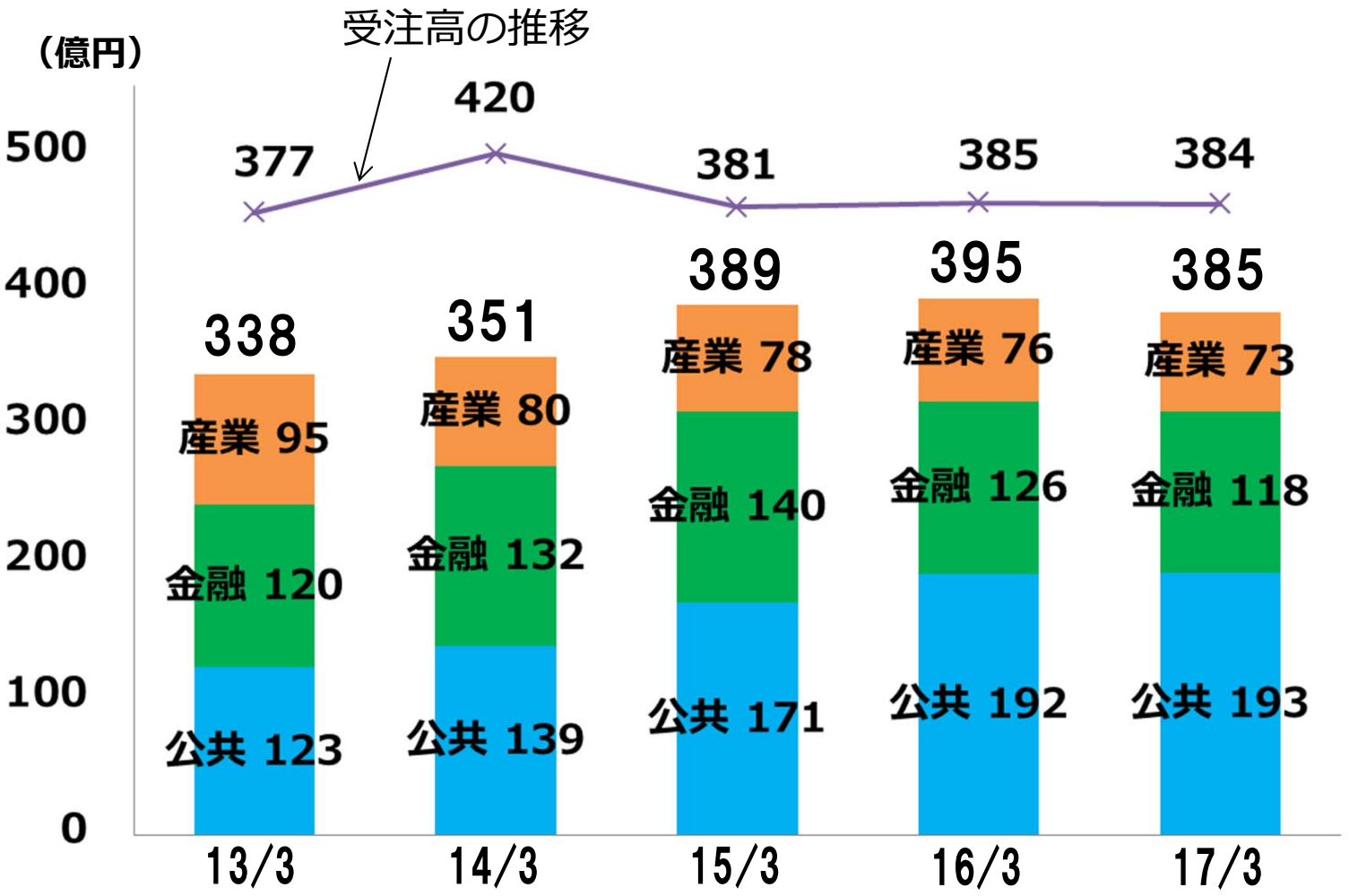
	16年3月期	17年3月期			
	実績	実績	増減額	前期比	公表値
売　上　高	39,455	38,488	△ 967	△2.5%	40,000
売上総利益	7,725	8,180	455	5.9%	-
営業利益	2,212	2,407	195	8.8%	2,400
経常利益	2,267	2,427	161	7.1%	2,400
当期純利益	1,454	1,613	159	10.9%	1,500

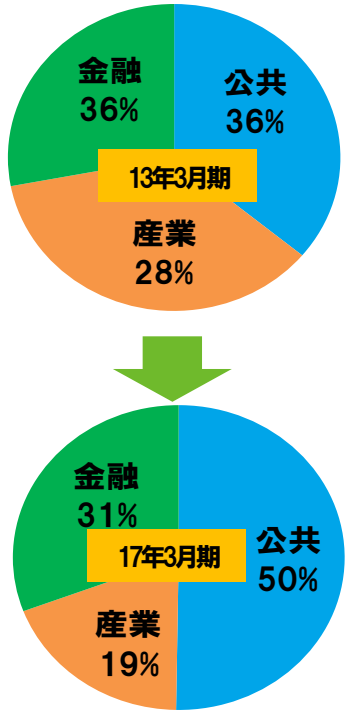
Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅰ-2　売上高・受注高の推移

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

■公共分野が、一貫して成長を持続



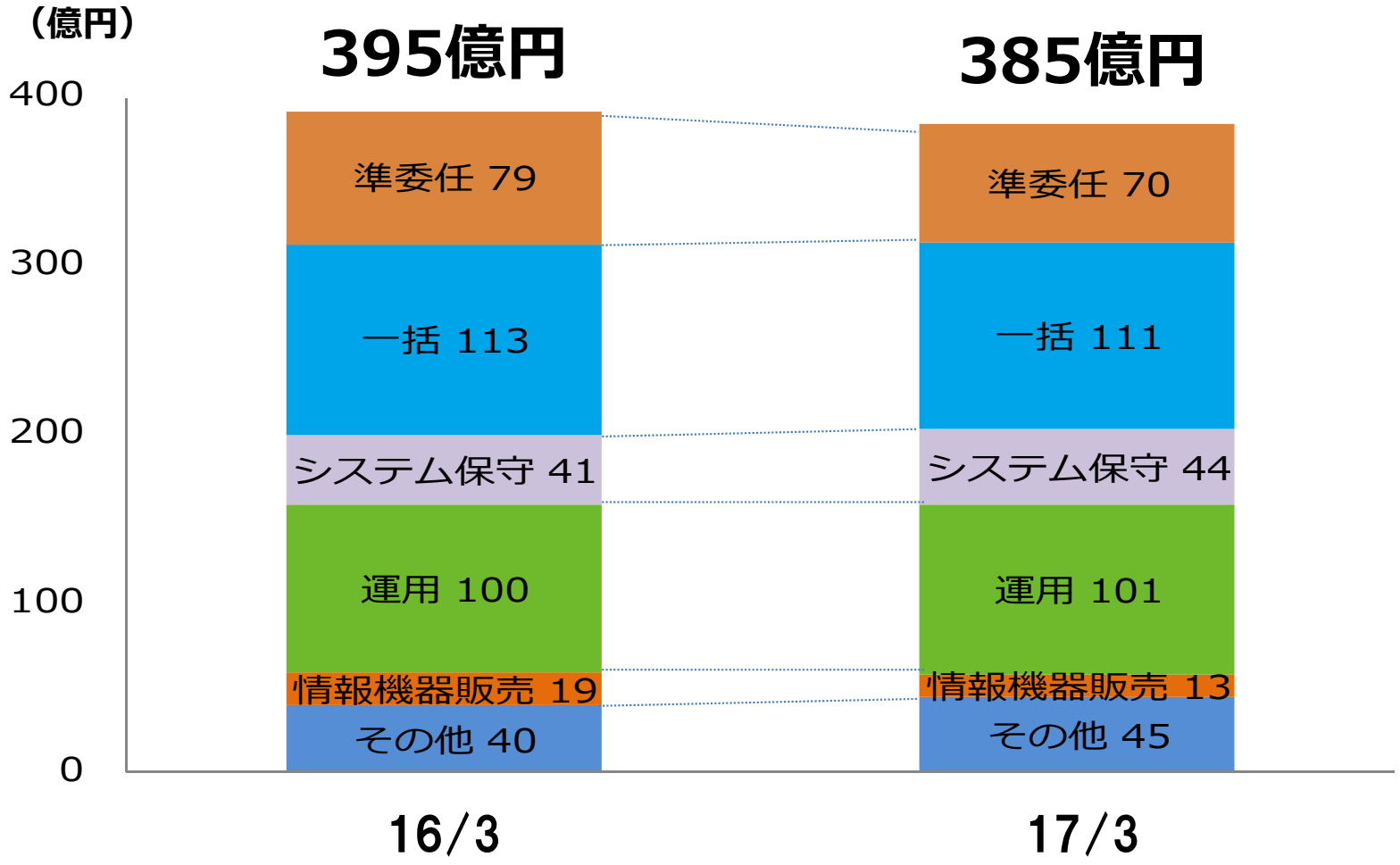


公共分野
過去最高

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅰ-3　商品・サービス別売上高

- 金融を中心に準委任が減少
- 公共分野を中心にシステム保守、運用が増加

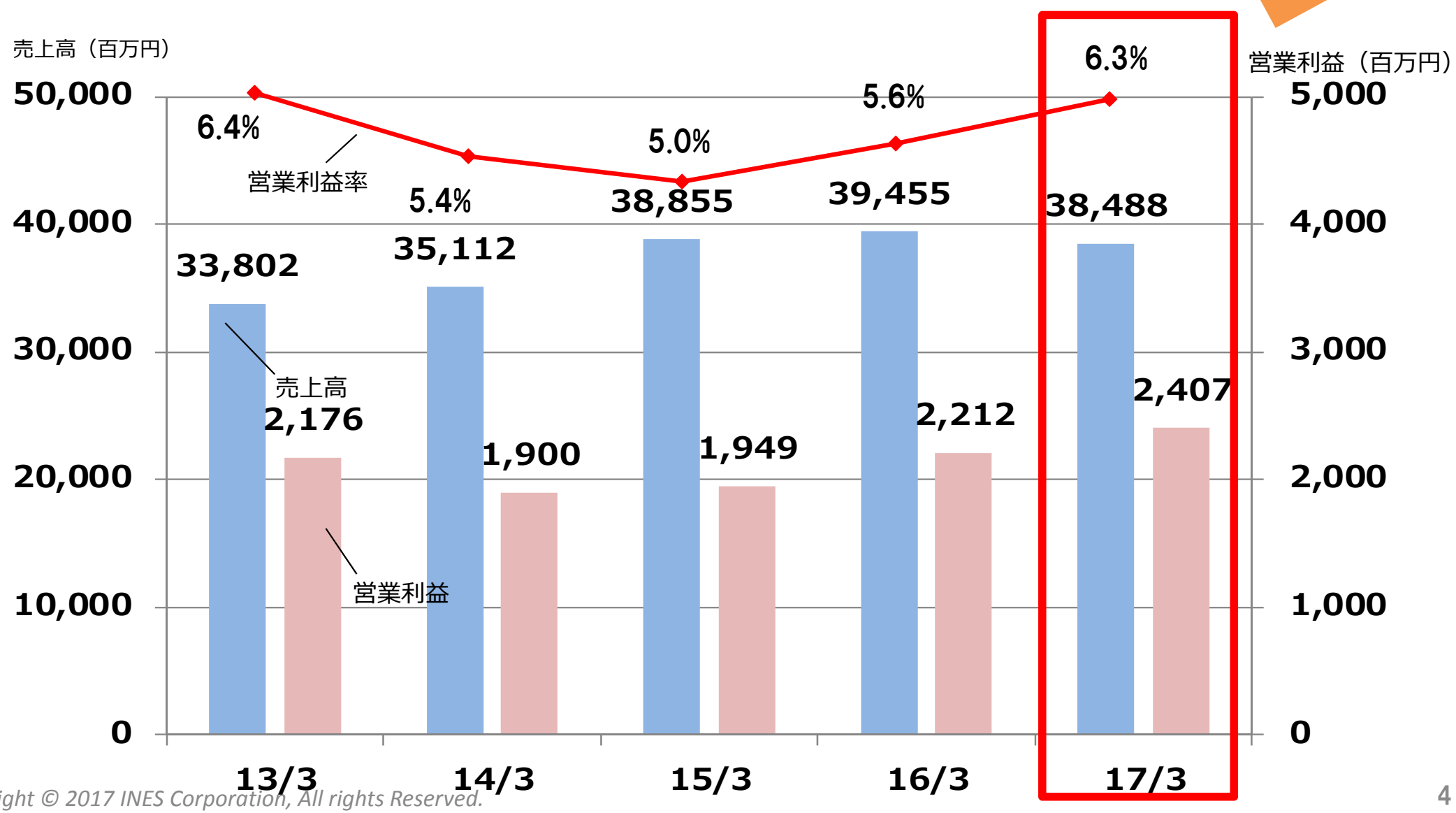


Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅰ-4　業績の推移

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

■営業利益は、15年3月期以降回復傾向

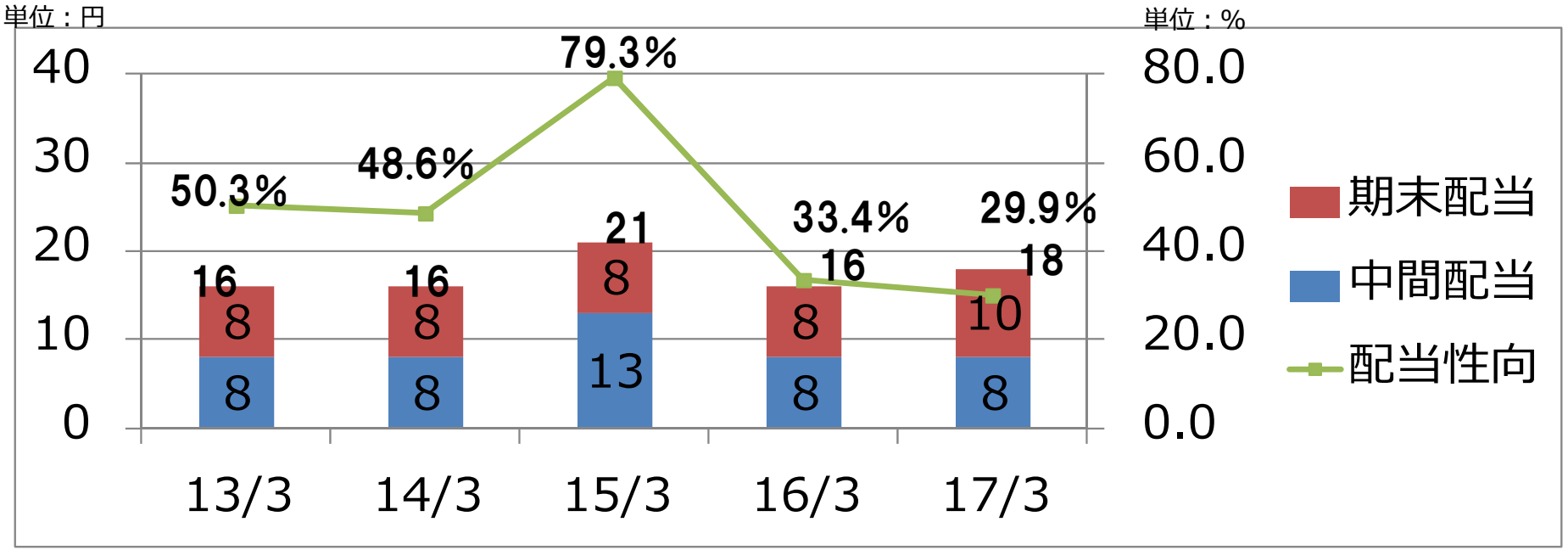


Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅰ-5　配当の方針

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

17/3期は期末配当を2円増配



	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3
中間配当	8円	8円	※13円	8円	8円
期末配当	8円	8円	8円	8円	10円
年間配当	16円	16円	21円	16円	18円
配当性向	50.3%	48.6%	79.3%	33.4%	29.9%

※記念配5円含む

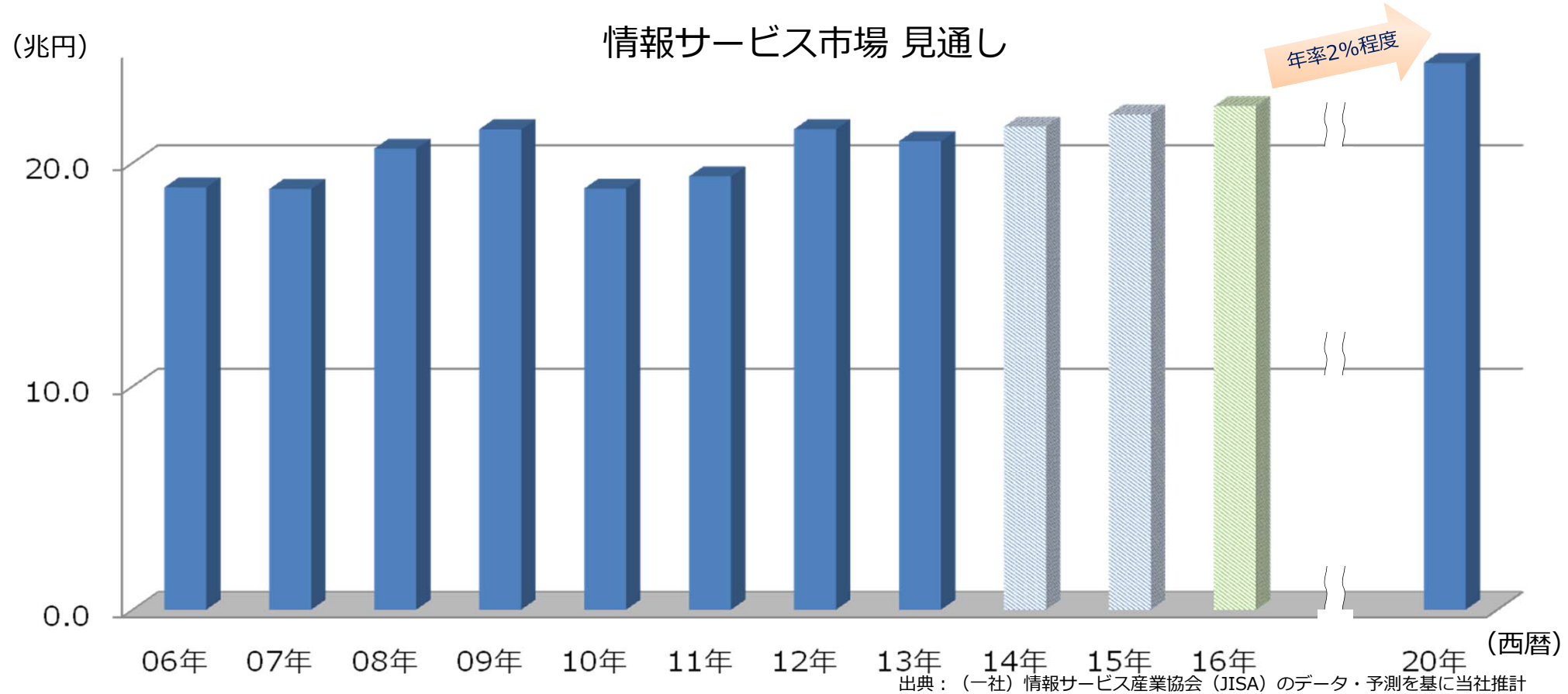
Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

Ⅱ　中期事業計画（2017-2019）

Ⅱ- 1 市場環境

- **市場全体：メガバンク案件やマイナンバー特需が一段落し、今後は新技術普及と人材供給が課題。年平均2%成長の見込み。**
- **公共分野：福祉系、法改正対応、リプレース需要拡大に期待。**
- **金融分野：地銀統合、FinTech等サービス高度化投資に期待。**



出典：（一社）情報サービス産業協会（JISA）のデータ・予測を基に当社推計

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ－２　中期経営戦略

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

- 事業戦略
- 投資戦略（研究開発投資）
- Ｍ＆Ａ・アライアンス戦略
- 人財戦略
- 資本・財務戦略

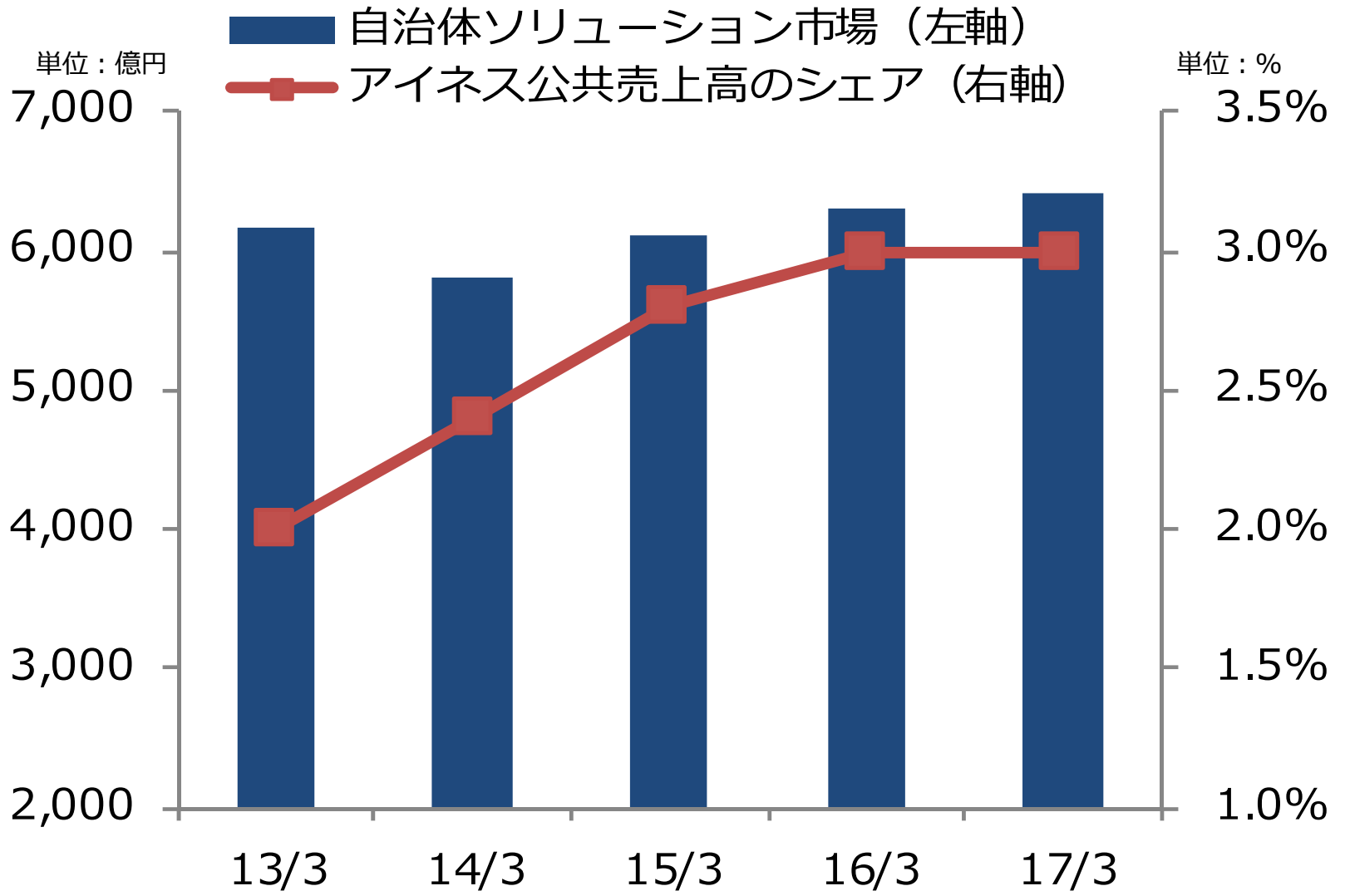
企業価値の向上

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ- 3　事業戦略＜公共分野①＞

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

自治体ソリューション市場とアイネス公共売上高のシェアの推移



※：自治体ソリューション市場の17/3の数値は、見込です。

出所元：矢野経済研究所「自治体向けソリューション市場に関する調査を実施（2017年）」

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ-３　事業戦略＜公共分野②＞

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

◆ ＷｅｂＲｉｎｇｓ福祉で全国シェア拡大を図る
（人口規模10万人以上）
◆ 「ものづくり」強化を引き続き推進
◆ 今期より次期ＷｅｂＲｉｎｇｓの構想に着手

１．環境
✓ 少子高齢化、労働人口減少　⇒今後も頻繁な法改正
✓ 競合ベンダーで一部福祉系撤退の動き

２．具体的施策
✓ 新規自治体数×新規業務数（フロー）＋保守・運用売上（ストック）で、ボリューム成長
・　「福祉のアイネス」ブランドの維持拡大
・　アライアンスの推進（候補先　全国３０社超）
✓ ものづくり（パッケージ性能の向上、導入・保守効率の大幅向上）による収益力強化
✓ 自治体クラウド強化
✓ 次期ＷｅｂＲｉｎｇｓの構想に着手

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ- 3　事業戦略＜金融分野＞

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

◆ 既存事業での業務領域、顧客内シェアの拡大+上流工程への参画による高度化戦略
◆ ＦｉｎTech、ＡＩ、パブリッククラウドなど、新たな変化への対応

✓ コンサル会社などとの協業により上流工程からの商談獲得

✓ パッケージ、クラウドの強化（自前に拘らず）⇒人員リンクからの脱却

✓ グローバル化への対応

✓ ＦｉｎTech、ＡＩなどの新技術対応　　外部との連携により推進
（→アイネス総研を活用）

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

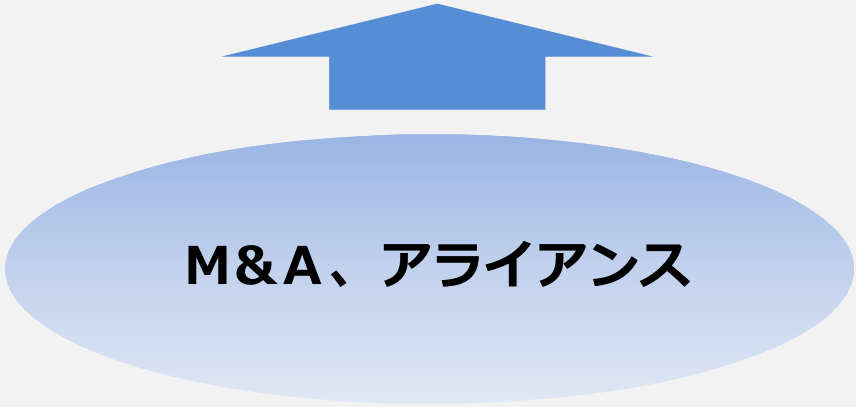
Ⅱ- 3　事業戦略＜民間分野＞

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

- ◆ パッケージ、ソリューションビジネスへの転換
- ◆ クラウドを基盤とした「サービス提供型」ビジネスへの転換
- ◆ ストック型ビジネスの拡大、民間顧客へのサービス領域拡大

✓ サービスメニューの大幅拡充

✓ 地域内ネットワーク強化による新規顧客の獲得



グループ会社間の拠点共有化

KDS

ISS

関西支社入居ビル　　東北支社入居ビル

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ－４　投資戦略（研究開発投資）

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

◆ ‘17/1　（株）アイネス総合研究所（ＩＲＩ）設立
- １９９１年発足のアイネス総合研究所によるイノベーションへの取り組みを復活
- 産学官など外部と連携し、先端技術・ノウハウを蓄積、技術革新に備え、将来の成長につなげる

⇒開発投資規模目途　今後３年で**数億円程度**を予定

◆ 次期WebRingsの構想など、既存ビジネスへの開発投資を加速

◆ ＩＴ系ベンチャーファンドへの出資　（投資先企業との協業・提携）

＜ＩＲＩの主な活動領域＞

- ✓　ＦｉｎＴｅｃｈ
- ✓　ＡＩ
- ✓　地方創生ｅｔｃ

Copyright © 2016 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ-５　Ｍ＆Ａ・アライアンス戦略

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

Ｍ＆Ａ・アライアンスの推進

当社にはない製品、技術、顧客、販売エリアを補完する

＜Ｍ＆Ａ、アライアンスの狙い＞

１．受注・売上規模の拡大

２．サービスの拡充

３．協力会社・パートナーのグループ化

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ－６　人財戦略

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

雇用・就業形態に応じた人事制度の構築

Ⅰ．柔軟で効率的な職場環境

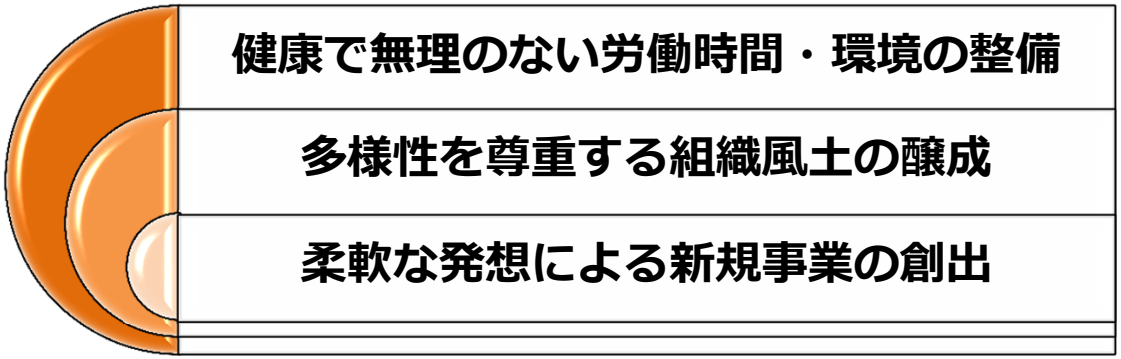
Ⅱ．ムダの排除・生産性向上

Ⅲ．生産性を促す人事制度

Ⅳ．社員の自律的成長を促す教育

プロフェッショナル集団として価値を
生み出す「働き方改革」
～決まった労働時間内で生産性を
最大限に高める働き方へ～

目指す姿



Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ- 7　資本・財務戦略

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

- １７/3期末配当より、8円⇒10円に増配。
  18/3期より年間20円へ。

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3 予想
中間配当	8円	※13円	8円	8円	10円
期末配当	8円	8円	8円	10円	10円
年間配当	16円	21円	16円	18円	20円
配当性向	48.6%	79.3%	33.4%	29.9%	40.2%
ＲＯＥ	2.4%	2.0%	3.5%	4.2%	
ＲＯＡ	3.3%	3.3%	3.8%	4.3%	

※記念配5円含む

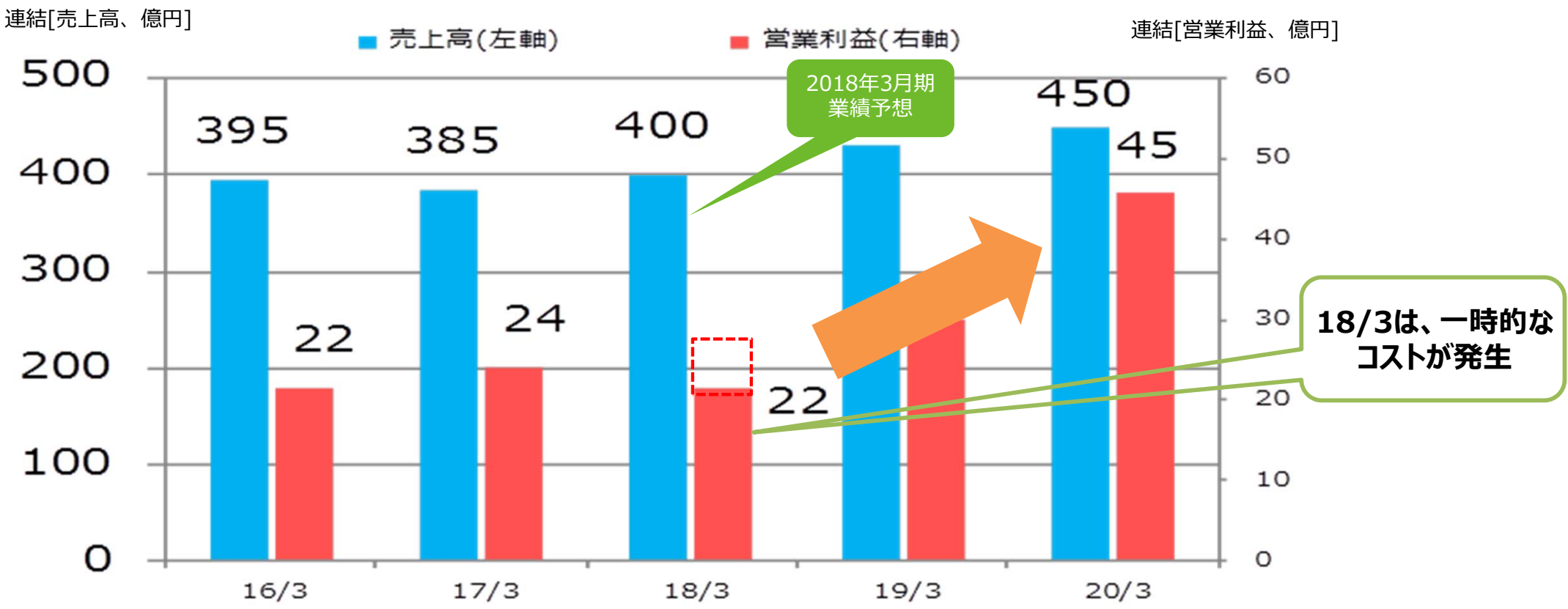
Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ-８　中期業績計画

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

2020年3月期　計画

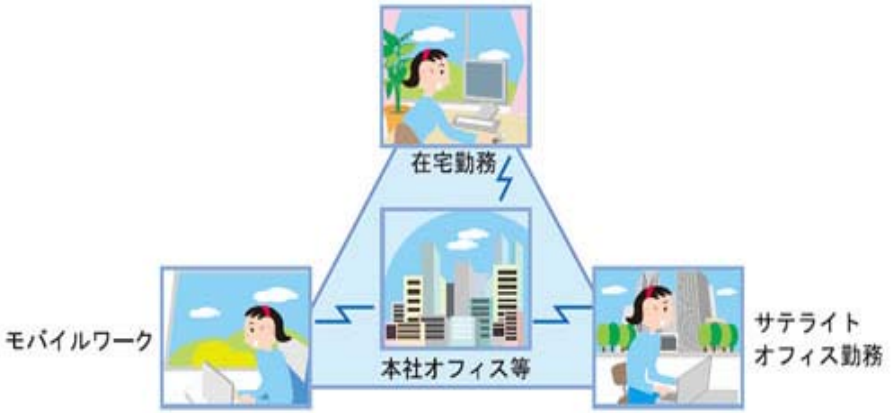
売上高（Ｍ＆Ａ含む）	450億円
営業利益率	10%以上



Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ- 9　トピックス①　働き方改革の推進

2016年10月7日	イクボス企業同盟に加盟
2017年 2月 ～	プレミアム・フライデーの有給休暇取得推進
2017年 4月 ～	在宅勤務制度の開始
2017年 6月	くるみん・えるぼし取得予定



Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ-９　トピックス②

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

■ ＩＲＩ（アイネス総研）の取組み事例

1.FinTech
（株）ブロックチェーンハブ様との業務提携
2.ＡＩ
　複数の国公私立大との共創により、AI活用を研究開発
3.地方創生
　自治体とのコラボにより、地域通貨の実証実験を計画中

■ 記事掲載

2017年　3月10日　　日本金融通信社発行　　「ニッキン」

「アイネスグループ、新たなビジネスモデル創出
「減価型仮想通貨」を実証」

ニッキン
The Japan Financial News
3月10日 金曜日
2017年（平成29年）
日本金融通信社

企業 財務 IT

アイネスグループ

新たなビジネスモデル創出

「減価型仮想通貨」を実証

ブロックチェーンで

記事の複写及び配布については、
日本金融通信社より許諾を得ています。

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ-９　トピックス③ ロボティクスビジネス

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

◆愛知県岡崎市様：「江戸のふるさと　岡崎市観光展」

◆埼玉西武ライオンズ様：本拠地メットライフドーム(埼玉県所沢市)
ライオンズストア フラッグス入口にておもてなし。

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ-９　トピックス④　展示会への出展

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

地方自治情報化推進フェア2016

Pepper World 2017

FIT2016（金融国際情報技術展）

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

Ⅱ-９　トピックス⑤　拠点ネットワークの拡充

アイネス
未来を考えるＩＴ企業

- グループ会社間の拠点共有化（関西、東北）による
  お客様サービスの向上

KDS

関西支社入居ビル

東北支社入居ビル

- 子会社のＢＰＯビジネス
  神奈川サイエンスパークへの移転

ISS

神奈川サイエンスパーク

- 川崎事業所の移転

川崎事業所

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました。

免責事項

ご注意

※本資料に含まれる将来の予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、内外の経済や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展により変動することがあり得ます。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものでは、ありません。

※本資料に掲載されているサービス及び商品等は、株式会社アイネスあるいは各社等の登録商標または商標です。

Copyright © 2017 INES Corporation, All rights Reserved.